

# 石巻の緑再生にひと役

## 樹木医 喜多さん 庭の除塩に力注ぐ

静岡県富士市のアイキ樹木メンテナンス㈱の代表取締役の喜多智靖さん(40)が先月、石巻市水明南に新事務所を開設した。東日本大震災で被災した個人宅の庭木などを塩害から守るのが目的だ。震災後、ボランティアとして石巻で献身的な支援活動を行った喜多さんは「人は自然とともに生きている。それを教えられたのがあの震災だった。人々が木とともに人生を歩めるよう石巻で事業に挑戦したい」と熱く語る。

### 支援を形に

下

喜多さんはイギリスにドキュメンタリー番組の日系商社で財務を担組で見た樹木医の仕事当、MBA(経営管理)を抱いた憧れを忘れず、会社勤めをして学修士)を取得するなれず、会社勤めをしてと異色の経歴などをもいた35歳の時に一念発起。静岡県立農林大学



鹿妻小学校で土壌調査を行う喜多さん(写真右)

校に入学し、造園会社 した。で修行後、資格を取得 その勉強をしていた

最中に発生したのが東日本大震災。同年、ボランティアとして石巻を訪れたが、津波で多くの建物が流されるといふ惨状はもとより、残った家々の庭までも塩害に侵されていることにもショックを受けた。

「庭の木は、結婚した時や子どもが生まれた時、家の新築などの人生の節目に植えることが多い。また毎年果物を収穫するなど、家族の幸せとともにあったはず」と喜多さん。

「農地における除塩作業は行政が進めているが、宅地はまったくの手付かすに見える」と語り、要望に応じて石巻地方で土壌調査や除塩業務を行うことにした。

実際の業務の流れは塩害の土壌調査、除塩作業、そして造園施工となる。除塩作業は樹

木医としてのノウハウを石巻の造園業者に提供し、仕事創出にも一役買う。

後。その時に再生した庭を見た住民の皆さんの笑顔が、思い浮かびます」と微笑む。個人宅に関する調査料金や作業内容は相談に応じている。

今月5日には石巻市立鹿妻小学校で敷地内の花壇の土を採取する

喜多さんは「除塩の効果の結果として出てくるのは早くて3年

# 石巻日日新聞

石巻日日新聞社  
〒986-0874  
石巻市双葉町8番17号  
電話 0225-95-5231  
ファックス 0225-94-4720  
郵便振替口座 02240-3-4424

©石巻日日新聞社 2013

**Hibi-net**  
http://www.hibishinbun.com  
info@hibishinbun.com

2013年(平成25年)6月6日 木曜日

日刊(日曜休刊)